

伊万里 市議会だより

IMARI SHIGIKAI NEWS

No. 94

令和7年8月(2025年)



上原泰三さん撮影 浜町交差点の女みこし合戦(伊万里町)

5月25日、伊万里市街地を舞台に 「どっちゃん祭り」が開催されました

- お知らせ P.2、4
議長挨拶・市議会10年表彰 ほか
- 臨時会・定例会 P.3
- 常任委員会 P.5～7
- 予算審査特別委員会 P.8～9
- 一般質問 P.10～15

令和7年第3回定例会は、9月1日(月) 開会予定です。

特集

会派紹介 P.16

市議会のホームページは「伊万里市議会」で
検索、または右の二次元コードからご覧
ください。



議長就任あいさつ

議長 中山 光 義

この度、再度の立候補により重責ある議長職を務めるようになりました。先の2年間、伊万里市議会議長として議会はもとより、市民の皆様方にご支援を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

私が今回再度の立候補を決意した大きな要因は、議会の皆様方からの後押しもその一つであります。先の2年間の議長経験を生かし、特に議会外での県、国に対する要望などの対外的な活動を通じ更なる市民福祉の向上に寄与したいとの思いからです。

伊万里市議会は今までの良き伝統は守りつつ、時代に合った議会のあり方を探求し進化する、議論を深められる議会を目指したいと考えています。

市民皆様のなお一層のご支援を賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。



加藤 副議長 中山 議長 力武 監査委員

全国市議会議長会表彰 〈議員表彰 勤続10年〉



中山 光義 議員



前田 邦幸 議員

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法の規定により、初盆参りや地区の祭りへ会費以外の金品を持参することは禁止されていますので、失礼いたします。どうかご理解いただきますよう、お願いいたします。

議員一同

第1回臨時会 令和7年5月16日(金)

上程された議案は、すべて可決および承認しました

令和7年度一般会計予算

5月補正額	4,894万5,000円
予算総額	343億3,394万5,000円

学校給食センターの改修、後期高齢者医療保険料の還付金等の追加のため、増額しました。

第2回定例会 令和7年6月9日(月)～25日(水)

上程された議案は、すべて可決および承認しました

令和7年度一般会計予算

6月補正額	5億1,039万3,000円
予算総額	348億4,433万8,000円

予防接種事業、交通安全整備事業、防災活動事業、東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業を行うため、増額しました。また、定額減税不足額調整給付金の支給に要する経費、民営の簡易水道組合等に対する支援金の支給に要する経費、水道事業特別会計に対する補助金の追加等のため、増額しました。

一部事務組合等 構成議員の紹介

●伊万里・有田地区医療福祉組合議会議員

中山 光義 加藤奈津実 塚本 博幸 力武英一郎 前田 邦幸 香月 孝夫

●伊万里・有田衛生組合議会議員

中山 光義 林 博幸 川添 智徳 児玉不二子 山口 常人 梶山 太

●伊万里・有田消防組合議会議員

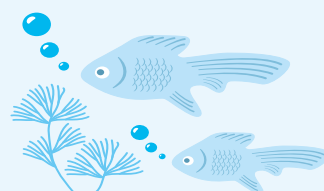
中山 光義 加藤奈津実 木寺 智子 前田 久年 盛 泰子

●佐賀県西部広域環境組合議会議員

加藤奈津実 前田 邦幸

●佐賀県後期高齢者医療広域連合議会議員

前田 邦幸



議会運営委員会

議会を円滑かつ効率的に運営するため、地方自治法に基づき設置します。議会の運営に関する事項、議会の条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項について協議します。

委員長 香月 孝夫
副委員長 力武英一郎
委員 塚本 博幸 松尾 伸人
前田 邦幸 井手 勲
盛 泰子



広報広聴委員会

議会だよりの編集および発行、議会のホームページ、議会報告会および市民との意見交換会の企画、その他議会の広報および広聴に関することを行います。

委員長 西田晃一郎
副委員長 児玉不二子
委員 加藤奈津実 金原 晋作
木寺 智子 川添 智徳
松尾 伸人



議会機能向上特別委員会

伊万里市議会基本条例の再点検、見直し等、更に前進する議会を目指すとともに、議会主導の主権者教育に向け、調査・研究並びに企画立案、実施要綱の作成等を行います。

委員長 林 博幸
副委員長 力武 勝範
委員 加藤奈津実 木寺 智子
川添 智徳 山口 常人



空き家対策調査特別委員会

市内において管理不全な空き家が増加傾向にあり、地域住民からも不安の声があがっていることから、空き家の発生抑制や利活用、適切な管理や解体等の促進に向けた新たな取り組みについての調査・研究を行います。

委員長 梶山 太
副委員長 金原 晋作
委員 児玉不二子 西田晃一郎
松尾 真介 前田 久年



市の職員が柔軟な働き方を実現できるように 条例を改正します

<改正の概要>

妊娠、出産時や育児期の職員への、面談等による仕事と育児の両立支援制度などの周知や、制度利用・働き方の意向聴取および聴取した意向への配慮を市長等の任命権者に義務付ける。

対象となる職員

- ①職員本人やその配偶者などの妊娠や出産などについて、申し出た職員。
- ②3歳に満たない子を養育する職員

質疑 この聞き取りは誰がするのか。

回答 所属長がすることになる。

質疑 家庭や子どもの状況など言いにくいこともあるが。

回答 聞き取りの方法の規定はないので柔軟に考える。

質疑 職員の負担が増えないよう人員を増やすことも必要では。

回答 会計年度任用職員を入れるなど柔軟に職員の配置を検討する。



総務委員会

委員長：盛 泰子
副委員長：松尾 伸人
委員：中山 光義 金原 晋作 山口 常人
 梶山 太 井手 勲

生涯学習センターなどの使用料を見直します

中央公民館、生涯学習センターの学習室の使用料について、市民の利便性向上をはかるため、コミュニティセンター同様の料金形態に見直す。

料金形態を4時間単位から1時間単位に変更することで、短時間利用が可能となる。

質疑 任意の団体等とその他の団体の区分は。

回答 任意の団体等とは、事前に生涯学習センターを利用することを前提に申請登録をした団体。その他の団体は、事前の手続きをせずに利用申請をする団体。

区分	旧使用料（最初の4時間）		新使用料（1時間）	
	第1学習室 第3学習室	その他の学習室	第1学習室 第3学習室	その他の学習室
任意の団体等の 研 修 活 動	1,100円	880円	270円	220円
そ の 他	3,300円	2,200円	820円	550円



文 教 厚 生 委 員 会

委 員 長：松尾 真介

副委員長：西田晃一郎

委 員：加藤奈津実

児玉不二子

塚本 博幸

力武 勝範

木寺 智子

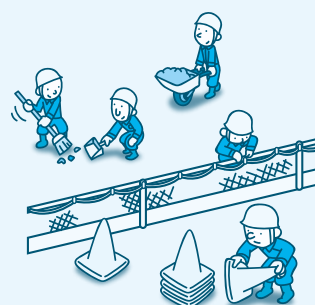
浦分排水機場土木工事について 工法の変更により契約を締結します

浦分地区浸水対策事業は、長年の懸案となっていた黒川町浦分地区の浸水被害を低減させ、住民の安心安全を図るため排水機場を整備するもので、今年度中の工事完了を目標に事業を進めている。

土木工事の地盤改良工事において、地質調査では予見できなかった硬い層があり、当初の工法では計画範囲の地盤改良が実施できないことが判明したため、地盤改良の工法を変更し工事を進めていく。

変更契約内容

工 種	工事請負費(千円)	
	当初契約額	契約変更額
土木工事	104,830	195,740



環 境 建 設 委 員 会

委員長：前田 邦幸

副委員長：川添 智徳

委員：林 博幸

前田 久年

力武英一郎

香月 孝夫

予算審査特別委員会報告

6月12日および25日の本会議において付託されました議案乙第15号、議案乙第16号、議案乙第18号、議案乙第19号について、審査の結果、原案のとおり全会一致で可決すべきものと決定いたしました。

なお、付託議案に対しての意見および主な質疑・回答は以下のとおりです。

意見

議案乙第15号

令和7年度伊万里市 一般会計補正予算（第4号）について

・予防接種事業

带状疱疹予防接種の費用助成について、経過措置の年齢の記載を見た市民が、5歳刻みの希望する年齢を選択して接種することができるとの誤解をするおそれがあるため、丁寧な案内と周知に努めること。

主な質疑・回答

議案乙第15号

令和7年度伊万里市 一般会計補正予算（第4号）について

・予防接種事業

【概要】

新型コロナウイルス感染症および带状疱疹を予防するため、高齢者等を対象に予防接種を実施する。

- ・新型コロナウイルスワクチン：自己負担額4,500円（生活保護受給者は0円）
- ・带状疱疹ワクチン

- ①生ワクチン：接種回数1回、自己負担額2,500円（生活保護受給者は0円）
- ②不活化ワクチン：接種回数2回、自己負担額6,500円／回（生活保護受給者は0円）

带状疱疹予防接種の費用助成対象者についての質疑があり、あくまで今年度に65歳を迎える方が対象であり、既に65歳を超えた方については全ての方に接種機会が提供できるよう、70歳から100歳まで5歳刻みの年齢の時に接種できる5年間の経過措置が設けられており、また今年度限り100歳以上の全ての方が接種できるようになっているとの説明があった。

対象者に送付するハガキの資料提供があったが、対象者や持参物の表記に誤解をする可能性があるという意見が出たため、再検討していただいた。

予算審査特別委員会報告

議案乙第18号

令和7年度伊万里市 一般会計補正予算（第5号）について

・物価高騰対応民営簡易水道組合等支援事業

【概要】

国の決定により、令和7年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が各自治体に交付される。

本市では、物価高騰により市民等が夏季における水道使用を控えることで体調不良等をきたさぬよう、水道基本料金1か月分を減免する民営簡易水道組合等に世帯分の基本料金相当額を交付する。

※通常の家庭用上水道については、物価高騰対策水道基本料金減免事業により水道事業会計へ繰り出し、基本料金1か月分を減免する。

市民等への周知方法についての質疑があり、8月の広報紙の発行に合わせてチラシを全戸配布するという回答だった。



◎委員長	前田 久年	○副委員長	力武英一郎
◎総務分科会長	盛 泰子	○副分科会長	松尾 伸人
			金原 晋作／山口 常人／梶山 太／井手 勲
◎文教厚生分科会長	松尾 真介	○副分科会長	西田晃一郎
			加藤奈津実／塚本 博幸／木寺 智子／児玉不二子／力武 勝範
◎環境建設分科会長	前田 邦幸	○副分科会長	川添 智徳
			林 博幸／力武英一郎／香月 孝夫／前田 久年

一般質問 (質問順)

議員名	質問事項
西田晃一郎 (興隆会)	1. 伊万里市手話言語の普及及び障がい者の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例について (1) 制定の経緯 (2) 現在の取組 (3) 今後の取組
加藤奈津実 (興隆会)	1. 令和7年度人事異動と組織改編について (1) 人事異動の基本方針と狙い (2) 組織の改編 (3) 定年延長に伴う職員配置 2. 伊万里市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について (1) 否決後の対応
林 博幸 (興隆会)	1. 中山間地域の農業について (1) 現状認識とこれまでの対策 (2) 中山間地域等直接支払制度 (3) 地域計画 (4) 中山間地域農業の今後の対策 2. 伊万里市民図書館の改修について (1) 過去5年の改修状況 (2) 喫緊の対策 (3) 今後の施設整備計画
盛 泰子 (伊想会)	1. 学校図書館連携室について (1) 学校図書館の現状 (2) 連携室が目指すもの (3) 西九州させば広域都市圏第2期ビジョンの変更 2. 雨天時における市民センター駐車場の状況について 3. 危機管理について (1) 「原子力災害時における住民の広域避難に関する覚書」 (2) 再び、原子力防災訓練の振り返り
木寺 智子 (翠蓮会)	1. 伊万里市の財政運営における財源確保策について (1) 基金の運用 (2) 市有地の売却 (3) ふるさと納税 (4) 市長の考え

議員名	質問事項
前田 邦幸 (興隆会)	1. 公共交通について (1) いまりんバス運行の経緯 (2) 西肥バス「松浦伊万里線」廃止後の現状 (3) いまりんバス地域線の考え 2. 教育行政について (1) インクルーシブ教育の考え (2) デジタル機器の更新 (3) 学校規模適正化の考え 3. 国見台公園総合整備について (1) 計画の経緯と構想 (2) 市民の意見の集約 (3) 国見台公園建設に係る補助金等
塚本 博幸 (幸風会)	1. 外国人との共生について (1) 伊万里で暮らす在留外国人の人数 (2) 家族同伴受入れ時の環境整備 (3) 外国人からも選ばれる伊万里に向けての考え 2. はり・きゅう施術助成のさらなる充実に向けて (1) 助成制度の概要 (2) 後期高齢者の申請状況とその利用状況 (3) はり・きゅう施術助成の活用に向けた周知 3. 地域計画策定後の今後の活動について (1) 地域計画策定作業の総括 (2) 今後の活動計画
児玉不二子	1. 5歳児健診の導入について (1) 現状と課題 (2) 導入の検討 2. 小学校・中学校、義務教育学校への空調設備導入について (1) 現状と課題 (2) 今後の方針
川添 智徳 (伊想会)	1. 市のゴミ袋とリサイクル事業について (1) ゴミ袋の強度とロール式への更新 (2) ゴミ袋の料金体系とリサイクル事業 (3) プラスチックごみの取り扱い 2. 市境歓迎看板について (1) 設置の経緯とその目的 (2) 適正な場所と今後の対応
松尾 伸人 (興隆会)	1. 中学校部活動の地域移行について (1) 国の方針と本市が検討を開始した時期 (2) 市内中学校の部活動の現状 (3) 今後の市内中学校の部活動の地域移行への進め方 2. 市の道路整備について (1) 市全体の整備要望の現状 (2) 東陵学園の通学路に関連する大坪～桃川線、古川～村分線の拡幅の見通し (3) 道路整備に関しての市長の思い



伊万里市手話言語条例 について

西田晃一郎

質問 県内の他市町で、手話言語条例やコミュニケーション条例が策定されている中で、なぜこの時期の策定になったのか。

答弁 健康福祉部長

要望書の提出を受けた協議の中で、条例をよりよいものとするため、手話に限定をした条例ではなく、様々な障がいの特性に応じたコミュニケーション手段に係る理解促進などを盛り込む必要があることや、条例が理念だけにとどまらず、実効性が担保される内容となることを念頭に熟慮を重ね、今回の施行となった。

質問 現在、市長定例記者会見等への手話通訳者の配置、広報紙での手話の紹介、啓発チラシの作成・配布を実施されているが、今後の展開は。

答弁 健康福祉部長

手話が言語であることへの認知を広めるため、9月23日の手話言語の国際デーに合わせ市内企業の協力を得て、ブルーライトアップ等を準備中。また、来年度以降は、先進自治体の取組内容など、関係団体とともに調査・研究し、施策の推進方針に基づいた事業を進めていく。

質問 条例には、市・市民・事業所の責務が記載されており、各場面でのコミュニケーションの円滑化を図るためには、各種障がいの特性を知る必要があるため、出前講座で取組めないか。

答弁 健康福祉部長

学びの機会は、市職員に対する研修をはじめ、市内各地での出前講座の開催や、広報紙、ホームページの活用を検討するなど、全ての市民が障がいの有無にかかわらず、互いに人権と個性を尊重し、自分らしく豊かに暮らすことができる地域社会の実現を目指す。



令和7年度 人事異動と組織改編

【その他の主な質問】

・伊万里市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

加藤奈津実

質問 令和5年度より60歳だった公務員の定年が65歳まで段階的に引き上げられることとなった。それと同時に、60歳で管理職から降任する役職定年制も始まった。この制度の目的は。

答弁 総務部長

管理職がそのまま在職し続けた場合、その他の職員の昇任ペースが遅くなる。士気の低下を招くことを防止し、組織の新陳代謝を促し活力を維持するため。

質問 前部長4人が政策調整官として配置されている、今年度新たに設置された政策調整室の設置目的と職務内容は。

答弁 総合政策部長

役職定年を迎えた部長級職員の豊富な知識と経験を生かして市の重点施策の推進力を高めることを目的としている。政策調整官は市長が特命的に指示をした事項について部の枠を超えて対応する。

質問 各調整官の席は直近に管轄していた部内かつ現管理職のすぐそばにあり、心強い反面お互い気を遣うのではないかと感じる。役職定年を迎えた職員配置は明確な職務区分と責任の整理が重要で、その知識と経験を思う存分生かせる環境が必要だと考えるが、今後どのように人材を活用していくのか。

答弁 総務部長

後輩職員にそのスキルを継承してもらうことに加え、相談への助言など職場の知恵袋的役割も果たしてほしい。また、地域活性化に取り組むためコミュニティセンター長としても配置した。今後も今回の配置に限らず、幅広い視野で職員の職のあり方について検討していきたい。



中山間地域の農業について

林 博 幸

質問 今回策定した地域計画を、10年後のありべき姿に近づけるため、今後どのように話し合いを進めていくのか。

答弁 建設農林水産部長

地域計画は、策定後も定期的に見直す必要があり、実効性のある計画とするため、今後はそれぞれの集落と継続した協議を実施していく予定。集落数が多いことから、本年度は中山間地域等直接支払制度に取り組む集落、来年度は、当制度に取り組んでいないその他の生産組合を対象に協議を実施する計画としている。地域計画の策定にあたっては、農地の担い手への集積や継続した維持管理につながっていくように協議を進める。

質問 市長は中山間地域の農業をどのように考えているのか。

答弁 市長

中山間地域の農業は課題も多いが、ここ数年で大きく環境が変わってきている状況。国や県の施策等を十分取り入れながら進めていく。

伊万里市民図書館の改修について

質問 市民図書館の雨漏りについては、抜本的対策を講じるべきではないか。また、トイレについてもリニューアルを検討すべきではないか。

答弁 教育部長

雨漏り対策とトイレの改修は、喫緊の対策が必要だと認識している。雨漏りについては、今年度は設計業者と図書館等市関係部署及び施工業者で原因究明の調査に取り組んでいる。トイレについても、原因調査を行っており、部分的な修繕で行うのか、大規模な改修工事が必要なのかを見極めた上で対策に取り組む。



市民センター雨天時の駐車場問題

【その他の主な質問】

・学校図書館の充実

盛 泰 子

質問 市民センター正面入り口前の「おまつり広場」は、大きなイベントの際に駐車場として利用されるが、水はけが悪く、特に松島神社側には複数の水たまりが発生し、利用者に不便をかけている。今後、子どもの室内遊び場が整備される予定でもあり、改善が必要では。

答弁 市民交流部長

国旗掲揚台付近の状況が酷かったため、昨年3月に側溝を設置する排水工事を行ってはいない。改めて降雨による水たまりの範囲などを調査し、費用面も含めて検討したい。

原子力災害時の広域避難と避難訓練

質問 ①2015年に市は避難先の3市2町と広域避難に関する覚書を締結しているが、「広域避難が避難先の市町の負担にならないよう配慮しなければならない」との条文がある。その一方で、近ごろの県議会や関係市町議会における議論では、避難先としての意識が薄い例が散見される。島根県のように広域避難計画を作成し、役割を明記するように求めるべきでは。②避難訓練後のアンケートだけでは課題の共有が難しいため、せめて対象区長会との意見交換をすべきでは。

答弁 総務部長

①覚書には明記されていないが、避難初期は避難元（伊万里市）が住民の送り出しに注力し、受け入れは避難先の自治体が積極的に行い、徐々に避難元が引き継ぐようにしており、関係自治体が共通認識をもっており、それが反映されていると理解している。②アンケートだけではなく、地域の実情をご存知の区長会には訓練実施後に意見をお聞きする。



財政運営における 財源確保策について

木寺 智子

質問 数年間取り崩す予定のない基金の運用状況と運用益は。

答弁 総合政策部長

令和4～6年度において、運用可能額や利率等を考慮し、1年の定期預金で運用。運用額は令和4年10億円、令和5年25億円、令和6年20億円で、3年間の運用益は718万4,000円。

質問 今後の基金運用の方針は。

答弁 総合政策部長

引き続き定期預金で安全に運用し、国債や地方債の購入も開始。

質問 過去3年間の市有地売却件数と金額は。

答弁 総合政策部長

令和4年度：21件／ 1,359万5,684円

令和5年度：10件／1億738万6,229円

令和6年度：8件／ 288万1,175円

質問 売却促進のための対応は。

答弁 総合政策部長

価格の段階的引下げ、民間手法の活用、不動産ポータルサイトの研究を実施。

質問 生産者への支援内容と成果は。

答弁 建設農林水産部長

奨励金交付、施設整備・農機導入支援、農地借受け支援、後継者育成（相談会・給付金）などにより、産地維持に一定の成果。

質問 返礼品を支える生産者の支援強化は。

答弁 総合政策部長

伊万里の魅力発信と地域産業の活性化を図り、新商品開発も支援していく。

質問 今後の財政運営における方向性についての市長の考えは。

答弁 市長

健全な財政運営を前提に収入増と支出削減を図り、市民生活に生かす財政運営を継続していく。



公共交通について

【その他の主な質問】

・国見台公園総合整備について

前田 邦幸

質問 西肥バスの松浦・伊万里路線の廃線に伴い、山代町民の不便さについて把握しているか。

答弁 市民交流部長

廃線後に伊万里駅までの交通手段について、数件問い合わせがあり、松浦鉄道などを案内し、ご理解いただいている。

質問 水曜日に西分から伊万里駅までの地域線を増便できないか。

答弁 市民交流部長

西肥自動車株式会社と引き続き協議を行っていきたいと考えている。

教育行政について

質問 障がいのあるなしに関わらず、一つの教室で体験し、共感性を持つインクルーシブ教育が必要では。

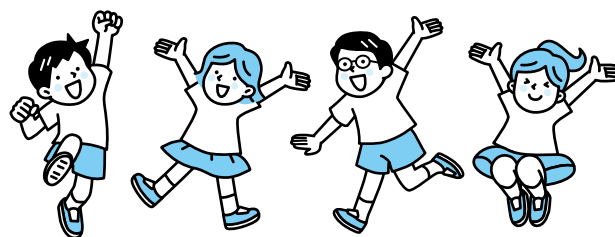
答弁 教育部長

教育活動全体を通して、道德教育や人権同和教育において、他人を思いやる心、差別をしない多様な価値観と共に生きる力を育むようにしている。

質問 伊万里市人口ビジョンによれば、20年後に0歳から14歳の子どもが1,097人減少する。早期に学校規模適正化協議会を始めるべきでは。

答弁 教育長

地域の声を聞きながら、適切な時期を見極め、学校規模適正化協議会を開催し検討をお願いしていきたい。





はり・きゅう施術助成 の充実

【その他の主な質問】

- ・外国人との共生
- ・地域計画策定後の今後の活動

塚本 博 幸

質問 助成制度の導入目的と導入時期は。

答弁 市民交流部長

被保険者の経済的負担を軽減し、福祉の向上及び健康の保持を図ることを目的に、国民健康保険では昭和43年4月から、後期高齢者医療制度では平成20年4月からスタートしている。

質問 施術1回当たりの助成金額と年間限度枚数（回数）は。

答弁 市民交流部長

施術1回につき890円を助成し、助成限度回数は、国民健康保険者は40回、後期高齢者には年間12回支給している。

質問 直近の後期高齢者の利用状況は。

答弁 市民交流部長

被保険者数9,245人のうち、助成券の申請を行われた方は年間188人で、申請割合は2.0%である。申請枚数の平均は11.3枚で、利用されたのは、平均で5.1枚と申請上限枚数の2分の1を下回っている。

質問 県内10市の中で伊万里市は最少の助成回数である。年間助成限度回数を12回から他市並みの24回に増やせないか。

答弁 市民交流部長

平均の利用回数が5.1回と上限回数の2分の1以下という状況であり、当面は現行の上限回数としたい。

質問 後期高齢者といえども、労働の必要に迫られて働かざるを得ない方々がおられ、限度回数の引き上げを望む声は強い。

今後、制度を市民の多くの皆様に活用してもらうために、より周知が必要であるが、どのような方法を考えているのか。

答弁 市民交流部長

市の広報紙およびケーブルテレビ等で周知を行い、利用回数を増加させたい。



5 歳児健診について

児玉不二子

質問 5歳児わんぱく相談とは。

答弁 健康福祉部長

対象者は年中児で、元小学校教員や公認心理士などの相談員が担当する保育園などを訪問し、子どもの様子を観察する。毎月開催しているわんぱく相談定例会で支援の方向性を議論し、保護者面談で就学までに必要と思われる支援や子どもへの関わり方について助言を行う。

質問 国の制度を利用して導入を検討するのか。

答弁 健康福祉部長

2028年度までに全国の自治体で5歳児健康診査を実施する目標があり、本市でも5歳児わんぱく相談から移行する形で導入する必要がある。

小・中学校、義務教育学校への空調設備導入

質問 国が費用の2分の1を支援する有利な交付金制度に対する認識は。

答弁 教育部長

地方負担額の100%に地方債が充当可能で、今年度の元利償還金50%に地方交付税措置がある。実質的な地方負担分は25%になり、従来の交付金より有利と認識している。

質問 有利な交付金を利用してエアコン設置を検討するのか。

答弁 市長

補助率は2分の1だが、文部科学省の出す補助単価が自治体の出す単価より安く、実際にやるには大きな問題がある。

今後、国の制度が変わっていく中で対応できるものであれば、動きを注視しながら進めていく。



市指定のゴミ袋と リサイクル事業について

川 添 智 徳

質問 本市指定ゴミ袋の強度を上げて、更に現状の平折り式からロール式に更新できないか。

答弁 市民交流部長

現状の強度を保ちつつ破れにくい素材がないか現在検討している。また、ロール式への更新は作製コストが上積みとなるため、ゴミ対策協議会等において多額の予算を要してでもロール式に変更した方がいいのか意見を伺う。

質問 ペットボトル用袋を可燃ゴミのゴミ袋より販売価格を下げることは可能か。

答弁 市民交流部長

ペットボトルのリサイクルを更に推進するためには可燃ゴミのゴミ袋とペットボトル用袋で格差を設けることは有効な手段の一つと考えるので、指定ゴミ袋全体の見直しを考える際に合わせて検討したい。

質問 プラスチックごみのリサイクル事業であるサーマルリサイクル事業に取り組めないか。

答弁 市民交流部長

市としては広域的なリサイクル施設の整備に向けた検討をしていく。

市境歓迎看板について

質問 現在、市内に6基設置されているが大川内町だけ市境ではない地区に設置されているのはなぜか。

答弁 市民交流部長

設置当時、市境の岩谷地区周辺に適地がなかった。

質問 今後、移設の考えはあるか。

答弁 市民交流部長

市外の方々に向けた歓迎広告塔でもあり、設置当初の目的を現在でも果たしているので移設や撤去の予定はない。



中学校部活動の 地域移行について

松 尾 伸 人

質問 国や県の方針と市の対応開始時期は。

答弁 教育長

国は令和4年夏の有識者会議において、部員数の減少、先生の働き方改革の必要性から地域移行を提言。県は「SAGA部活」として市町の実情に応じた地域展開を勧奨。本市としては令和5年10月に検討会議を設置し、検討を進めている。

質問 本市の検討会議の現状と今後の進め方は。

答弁 教育長

各関係団体代表で構成する「伊万里市の部活動における地域連携等に関する検討会議」において、「認定クラブ」制度の導入を決定した。令和8年度以降、競技や種目毎に順次移行を目指している。

市の道路整備について

質問 市の道路整備の状況は。

答弁 建設農林水産部長

毎年700件程の要望があり、採択率は令和4年度で53%程度。危険性、交通量、通学路、補助事業活用等で優先度を検討し、整備を進めている。

質問 大坪・桃川線、古川・村分線の拡幅計画は。

答弁 建設農林水産部長

桃川・大坪線の村分地区部分は、国の交付金制度を活用して整備を進めるべく準備中。古川・村分線の一部拡幅については、早期の整備は困難と考えている。

質問 市道整備へ向けた市長の思いは。

答弁 市長

現在の予算規模を維持しながら、学校に近い道路から、優先度を付けて整備を進めていく。



会派紹介

幸風会

私たちは、議会のあり方等、ブレのない活動に励みます。

代表 山口 常人
塚本 博幸 井手 勲 前田 久年



翠蓮会

市民の皆さんの声を大切にし、信念を貫き活動していきます。

代表 梶山 太
力武 英一郎 木寺 智子



興隆会

市民の声を力に、日々研鑽し地域社会の発展に尽くします。

代表 前田 邦幸
中山 光義 加藤 奈津実 林 博幸
松尾 伸人 西田 晃一郎



伊想会

政策の提言に努め、市民福祉の向上と議会の活性化を目指します。

代表 力武 勝範
金原 晋作 川添 智徳 松尾 真介
香月 孝夫 盛 泰子



編集後記

この度、2年ぶりに広報広聴委員会に委員長として帰ってきました。どうぞよろしくお願いします。

さて、前回の4年間は、市民の皆様から議会だよりに関してご意見を頂いたり、先進地を視察したりしました。そして、どうしたら一人でも多くの方の目に留まり、手に取っていただけるのか試行錯誤しながら、アイデアを出し合い、変えることに挑戦していた頃が懐かしく感じます。

また、私が離れた2年の間にも、様々な工夫が凝らされ、現在の「議会だより」のカタチになりました。

しかし、議会だよりには、まだまだ伸びしろがあると思っていますので、初心に返るとともに、あの頃の情熱を取り戻しつつ委員会一丸となっ

て、市民の皆様にもっと身近に感じていただける議会だよりの作成に努めますので、引き続きご愛読いただきますようよろしくお願いします。

(西田晃一郎)

広報広聴委員会

〈委員長〉 西田晃一郎
〈副委員長〉 児玉不二子
〈委員〉 加藤奈津実 金原 晋作
木寺 智子 川添 智徳
松尾 伸人

[発行・ご意見]

伊万里市議会 伊万里市立花町 1355-1
TEL0955-23-2594 FAX0955-22-1277
E-mail:gikai@city.imari.lg.jp

[編集] 広報広聴委員会 [印刷] 株式会社エーワン